

# 一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報

【一般社団法人 千葉県作業療法士会 選挙管理委員会】

千葉県作業療法士会選挙管理規程第8条に基づく代議員の選挙について令和7年12月8日付で公示し、立候補を募りました。その結果、立候補者数が代議員の定数を満たさなかったため、選挙管理規程第15条により、全員が無投票当選となります。選挙管理規程第12条により立候補者の意見表明を選挙区別順で以下に原文掲示します。

## 東葛北部選挙区 立候補者4名(定数6名)

氏名	野口 晴康	氏名	古橋 理恵
勤務先	医療法人社団博翔会 五香病院	勤務先	松戸市子供発達センター
この度、千葉県作業療法士会東葛北部代議員に立候補させていただきました野口晴康です。令和7年度まで、理事として教育部臨床実習指導者講習会委員会と現職者研修委員会、東葛ブロック担当理事に携わらせて頂きました。旧制度となりました現職者共通研修・選択研修は運営委員の皆様のご協力を賜りながら、円滑に開催しております。次年度は新しい生涯学習制度の運営に向けて準備を進める予定です。臨床実習指導者講習会委員会は講習会とフォローアップ研修会を開催し、悩みや不安の軽減・スキルアップを目指した研修会の開催に携わりました。東葛北部ブロックではブロック運営委員の皆様との連携を図りながら、ブロック運営の補助に携わらせていただいております。引き続き、千葉県作業療法士会が今後も皆様の繋がりの中核として支えになる様、尽力して参ります。宜しくお願い致します。		この度、代議員に立候補いたしました古橋理恵です。私は主に発達障害領域で臨床経験を積んできました。地域で生活するお子さんの中には、障害があると捉えられていない方も多くいます。育てにくさがあるほど支援は機能面に偏りやすく、「たくさんのことを感じながらの学び」「家族とともに育つ時間」「その子にとって大切な遊び」が後回しになることを懸念しています。作業の意味や質という視点は発達領域に限らず、他分野にも共通するものです。また千葉県は、都市部と地域部でサービス量の方でつながりの在り方に差があり、OTの連携にも影響しています。これらの視点をうまく活かし、作業療法の視野を広げていきたいと考えています。よろしくお願いします。	

氏名	内田 敏正	氏名	高山 大輔
勤務先	医療法人 徳洲会 千葉西総合病院	勤務先	野田病院
この度、千葉県作業療法士会代議員選挙へ立候補しました内田敏正です。千葉県松戸市にありますが千葉西総合病院に勤務しています。急性期医療におけるリハビリテーションの経験を積み、昨年度は回復期病棟の立ち上げ業務・管理に関わる等、幅広い分野での臨床業務を経験してきました。昨年度より県人会活動へ参加する機会も与えて頂きましたが、担当理事の皆様との作業療法士としての考え方や業界を活性化させようという熱意に感銘を受けたと共に、その活動に対し療法士として何かできるか行動してみたいと考え今回の立候補に至りました。理事・代議員・会員の皆様と作業療法業界の活動を活発にしていけるよう尽力していきますので、どうぞ宜しくお願い致します。		私は千葉県作業療法士会において東葛北部ブロック委員と地域共生社会推進委員として活動してきました。県士会での活動を通して作業療法士同士のつながりを持つことの心強さや作業療法の社会的地位の確立の重要性について考える機会を持つことができました。これからの多様な社会の中で作業療法士が地域住民に必要なとされるために本務だけでなく県士会活動を通じて社会にアピールすることが今後求められます。様々な年代・領域の作業療法士がつながりを持てるような活動をサポートしていきたいと思っています。	

## 東葛南部選挙区 立候補者10名(定数12名)

氏名	植田 修二郎	氏名	佐々木 海人
勤務先	順天堂大学医学部附属浦安病院	勤務先	東京湾岸リハビリテーション病院
この度、代議員選挙に立候補します植田修二郎と申します。大学病院での勤務も17年目を迎え、大学院博士課程に在籍中です。また、他大学での非常勤講師や自治体主催のリハビリ専門職等派遣事業の講師など、貴重な経験もさせていただいています。その中で臨床はもちろん、教育分野の奥深さや地域の作業療法士や他職種の方々の活躍から多くの学びを得ています。千葉県の作業療法の発展に微力ながら自らの経験を還元できればと考えています。どうぞよろしくお願い致します。		私は2013年に東京湾岸リハビリテーション病院へ入職し、回復期リハ病棟から生活期の通所・訪問リハビリテーションを経て、現在は通所リハビリテーションを主とした団体の事務局を主な業務としています。また、千葉県作業療法士会においては、令和6年度より理事を拝命し日々努めております。日常業務の関係で、現場の臨床からは離れていますが、通所リハビリテーション団体の事務局として、制度の流れを知る機会が非常に多く、複雑な介護保険制度についても深く理解し、その解釈に携わってまいりました。私はこの専門性と先見性を活かし、理想の生活期リハビリテーションの実現を強く志しながら日々の業務に精進しています。格別のご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。	

氏名	勝俣 岳太	氏名	横山 誠治
勤務先	リニエ訪問看護ステーション船橋	勤務先	企業組合Weneed
この度、千葉県作業療法士会の代議員に立候補しました勝俣岳太です。前期は地域連携部 福祉用具対策委員担当理事として活動し、国際福祉機器展相談ブースへの出向、福祉用具相談支援システムアドバイザー業務、千葉県作業療法士学会へのブース出展、研修会の企画などを携わってまいりました。次期においても、引き続き地域連携部での活動を継続するとともに、ブロック活動部の活動にも参画し、千葉県作業療法士協会のさらなる発展に寄与できるよう、微力ながら尽力してまいります。		私は今、社会参加のリハビリテーションをしています。OTの能力が生かされる場所です。以前は老健で高齢者のリハビリテーションに携わり、機能訓練・ADLを主に行っていました。千葉県作業療法士会では認知症対策委員会として、市川市では市川市リハビリテーション協議会としての活動もしてきました。そして今、私は働きづらい人が働いていくための就業体験と雇用という中間就労が可能な企業で3人のOTと一緒に働いています。対象者は身体・発達・精神などの障がいを持っている人だけでなく、長年引きこもっていた方、高齢者、子育て中の女性などさまざまです。そのような人たちが働きやすい環境づくりをし、経験を積むと、今までもがもたないくらい輝いてきます。まさに社会参加であり、OTの効果が実感できる場です。皆さんがOTとしてやりたいことを、無理なく楽しく一緒に共有し、実現していきませんか？	

氏名	金平 智恵美	氏名	関 美行
勤務先	八千代リハビリテーション学院	勤務先	リボン本八幡駅前校
3期目の代議員に立候補させていただきます金平智恵美です。急性期・回復期・生活期の病院でのリハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ、特別養護老人ホームでのリハビリ、介護実習普及センターでの自働具工房・福祉用具開発支援など様々な分野の作業療法を少しずつ経験した後、作業療法士育成に携わるようになって17年になります。県士会では、表彰委員会、調査部、東葛南部ブロック、選挙管理委員会、学会委員会、福祉用具対策委員会に微力ながら携わらせていただいています。県士会の運営について、様々な変化が必要なる時期になってまいりました。より多くの県内作業療法士に県士会の魅力が伝わるよう、皆さんと共に県士会活動を盛り上げていきたいと思っています。よろしく申し上げます。		私は作業療法士養成校卒業後に千葉県内の精神科病院にて11年勤務、その後就労移行支援事業所にて8年勤務しております。現在は、就労を希望されている障害をお持ちの幅広い疾患の方に就労支援、地域の医療・福祉・教育関係の方々に向けた障害者就労支援に関するご理解を深めていただくための活動等を行っております。千葉県士会では、令和5年12月から市原青年矯正センターへも参加しております。その中で障害を持つ犯罪者に関わり、作業療法士が社会における役割を広げることの意義を強く感じました。今後、代議員として千葉県内における障害者への支援は下より、それに付随して生活をしやすい方々に対する地域支援も県士会の立場で広げるために立候補いたしました。	

氏名	土居 義典	氏名	前田 尚賜
勤務先	有限会社 総合リハビリ研究所	勤務先	船橋市立リハビリテーション病院
この度代議員に立候補させていただきました土居義典と申します。私は20年間に渡り地域における作業療法士として活動しております。地域内では訪問におけるリハビリテーション、職業リハビリテーションの2つを専門としております。その中で他県ではありますが県士会の理事にて運営の舵取りを行った経験、また日本作業療法士協会理事として介護報酬における要望及び改訂情報の集約等における業務、事務局長代行補佐も歴任しております。これから地域包括ケアが中核となる中で地域において活動している作業療法士が、さらに専門性を高め地域貢献できるように、行政や県士会が推進すべき方向と担当区内の作業療法士の「声」を重ね、また今までの経験値も生かしながら、会員と千葉県作業療法士会の発展のために活動していきたいと思っております。		この度、千葉県作業療法士会代議員選挙に立候補いたしました、船橋市立リハビリテーション病院の前田尚賜です。 私は現在、同院の作業療法部門長として、地域に根ざしたリハビリテーションの提供・自職種のみならず他職種を含めた人材育成・多職種連携を推進する組織運営に邁進しております。また、千葉県士会では臨床実習指導者講習会委員会を4年間務めており、作業療法士の育成に深く携わってまいりました。 昨今の医療・介護を取り巻く環境は激変していますが、今こそ「質の高い人材」と「地域に求められる作業療法士の職能の確立」が必要と考えています。これまでの経験を活かし、現場の声を県士会へ届け、会員の皆様が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりに貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。	

氏名	熊谷 将志	氏名	大本 竜馬
勤務先	東京湾岸リハビリテーション病院	勤務先	八千代リハビリテーション学院
この度、代議員選挙に立候補させていただきます、東京湾岸リハビリテーション病院の熊谷将志です。私は当士会において、複数の委員会活動に携わり、代議員を10年間務めてまいりました。これらの経験を通して、委員会活動の中で感じた課題や可能性、また一会員としての希望など、さまざまな思いを抱いてきました。立場や役割の違いによる考えのコンフリクトを経験してきたからこそ、役員・委員会と会員との橋渡し役として、士会の活動や方向性を丁寧に確認し、協業を通じてより良い形へとつなげていきたいと考えています。次の2年間も代議員として、会員の皆さまが学びやつながりといった「会員であることの価値」を実感できる士会活動に貢献し、作業療法士の専門性を社会へ還元できる環境づくりに尽力してまいります。		八千代リハビリテーション学院の大本竜馬と申します。私はこれまで、精神科作業療法の現場で14年間研鑽を積んでまいりました。船橋の病院での計10年にわたり入院中の患者様への作業療法から退院支援まで幅広く携わり、そして鹿児島島の離島の病院での4年間のデイケア・地域医療の経験を通じ、病院から地域へと繋がる支援の重要性を肌で感じてきました。現在は母校にて、未来の作業療法士の育成に励んでおります。 代議員として、作業療法の専門性と価値を広く発信し、障害や特性の有無にかかわらず、誰もが自分の居場所で安心して過ごせる社会づくりに、作業療法士が先陣を切って貢献できる体制を目指します。現場の声を大切に、作業療法士がより社会で活躍できる環境づくりに全力を尽くしてまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。	

東総選挙区 立候補者5名(定数6名)

氏名	小池 靖子	氏名	上原 秀幸
勤務先	医療法人社団 高邦会 成田リハビリテーション病院	勤務先	学校法人 日本医科大学千葉北総病院
令和8年度代議員選挙に立候補いたしました成田リハビリテーション病院の小池靖子と申します。私はこれまで地域共生社会推進委員会、東総ブロック、運転支援検討委員会の一員として県士会の活動に取り組んで参りました。また、所属施設では臨床及び管理業務に加え、印旛圏地域リハ広域支援センター事業の業務に携わっております。その中で作業療法士の専門性の良さ、多職種と連携し課題解決に向けて一体的に取り組むことの良さを実感しております。これまでの経験を活かし、県士会活動や多職種連携、地域社会に根差した様々な取り組みに貢献できればと考えております。皆様のご支援ならびにご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。		この度、令和8年度代議員選挙に立候補しました日本医科大学千葉北総病院の上原秀幸と申します。経歴としては回復期～生活期にて身体・精神障害分野を中心とした業務経験を経て、現在は三次救急医療機関にて急性期作業療法を実践しております。また、日本DMAT隊員として国内における災害医療支援活動に取り組みながら、県士会活動では災害対策委員、東総ブロック委員等に携わっております。立候補に至る経緯として、県士会活動を通して沢山の方々に関わる中で『温故知新』の精神が強まり、多くの先輩療法士の方々が築上げてきた伝統を継承しながら、現代から未来へ向けた作業療法発展に寄与していきたいと思ったからです。そして、これから作業療法士を目指す方や作業療法士を始めて間もない方々が、クライアントへのより良い作業療法提供や作業療法士として日々を楽しく過ごせる様な機会を生み出す県士会作りに関わっていきたくと考えております。	

氏名	五味 幸寛	氏名	今野 和成
勤務先	国際医療福祉大学	勤務先	総合病院 国保旭中央病院
私は、県士会において平成30年度から代議員を、令和4年度から理事を務めております。また、令和7年度から倫理委員会の委員長を務めています。引き続き千葉県の作業療法士の倫理観と実践能力の向上に貢献したいと思い、再び代議員に立候補いたしました。県士会員が継続して学び、活躍できる環境や仕組みを作れるように尽力してまいります。		総合病院にて急性期リハビリテーションや訪問リハビリテーションに従事するとともに、地域リハビリテーション広域支援センターや高次脳支援拠点機関の支援コーディネーターとして、地域住民や市町村への支援事業に携わっております。県士会活動においては、令和2年度より理事を務め、令和4年度からは副会長を拝命し、県士会の組織運営に関することや、ブロック活動、地域連携、災害対策などに携わって参りました。令和8年度からも引き続き県士会活動を更に活発なものにしていくように貢献していきたいと考え、代議員に立候補を致します。どうぞよろしくお願い致します。	

氏名	多田 賢五
勤務先	合同会社 NEXT
皆さまこんにちは。合同会社NEXTで責任者をしております多田賢五と申します。私はこれまで、東総ブロック委員や学術委員などを経て3年前からブロック長を務めさせて頂いております。東総ブロックの作業療法士は勉強熱心で活動的な方が多く存在し、研修会を開催するとたくさんの仲間が集まってくれています。この様な方々の意見をしっかりと吸い上げ、研修会やイベント実施、広報活動という行動まで移す実行力には自信があります。代議員を務めさせて頂くことになりましたら、これまで繋がりの少なかった地域や病院などとも交流の機会を図り、千葉県作業療法士会の活動に興味を持って頂ける様に努力しようと考えております。よろしくお願いいたします。	

**千葉中央選挙区 立候補者13名(定数11名)**

<b>氏名</b>	<b>有川 真弓</b>	<b>氏名</b>	<b>大塚 栄子</b>
<b>勤務先</b>	<b>千葉県立保健医療大学</b>	<b>勤務先</b>	<b>植草学園大学</b>
平成24年より千葉県立保健医療大学で作業療法士の養成教育に携わっています。平成28年度より千葉県作業療法士会の理事となり、また事務局長を仰せつかり、力不足ながら5期にわたり活動を進めてまいりました。会員の思いが県士会活動に反映されるよう尽力したいと思い、立候補をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。		千葉中央ブロックより立候補いたしました大塚です。代議員および子ども連携推進委員会、司法作業療法特設委員会にて活動しています。県士会活動は、協会との連携だけでなく、司法領域など新たな領域での活躍が求められ、連携力と創造性が必要と痛感しています。日常では、養成校に勤務しており、各実習施設の方々と学生の生の声を生かせるよう努めています。会員の方々の可能性を高め発揮できる機会、繋がる機会が持てるよう、微力ですがお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。	

<b>氏名</b>	<b>岡野 朋子</b>	<b>氏名</b>	<b>須藤 崇行</b>
<b>勤務先</b>	<b>浜野ホスピタル</b>	<b>勤務先</b>	<b>千葉県立保健医療大学</b>
生まれ育った千葉に戻り、作業療法士として悩みながらも、学び続けること、対象者や対象者を取り巻くさまざまな方々と真摯に向き合うことを大切にしながら、15年間歩んでまいりました。その間、県士会の研修や活動を通じて、多くの学びと温かな支えをいただいております。 昨年3月には第26回千葉県作業療法士学会実行委員長を務め、現在は臨床実習指導者講習会委員会担当理事・副委員長、老年期障害委員会担当理事、千葉中央ブロック委員、災害対策委員会委員として活動しています。 会員のみなさまの声を県士会へ丁寧に届け、安心して作業療法士としての力を発揮していただける環境づくりの一助となりたく、代議員に立候補いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。		この度、千葉県作業療法士会 代議員選挙に立候補いたしました、千葉県立保健医療大学の須藤崇行です。私は平成25年度より生活行為向上マネジメント委員として活動し、平成29年度からは学会委員会の委員長を務めてまいりました。また、令和5年度からは臨床実習指導者講習会委員会の委員としても活動しております。 これまでの県士会での経験を通じ、会員の皆さまの声をより反映できる体制づくりの必要性を強く感じ、今回の代議員選挙に立候補いたしました。微力ではありますが、千葉県の作業療法士が活動しやすい環境づくりに貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。	

<b>氏名</b>	<b>高浜 功丞</b>	<b>氏名</b>	<b>露崎 雄太</b>
<b>勤務先</b>	<b>千葉県千葉リハビリテーションセンター</b>	<b>勤務先</b>	<b>医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院</b>
このたび千葉県作業療法士会の代議員として立候補いたします。 この千葉県で作業療法士として臨床業務に携わるようになり20年に届こうとしています。この間、医療リハビリテーションだけでなく、福祉の現場での社会リハ、職業リハにも関わり、作業療法士という職種がリハビリテーションを必要とする方々に多くのものを提供できる可能性を持っているか…ということを感じてきました。 引き続き千葉県内の作業療法士がこれからも多くの現場で活躍できるように、そのために少しでも働きやすい状況を創れるように、微力ではありますが千葉県作業療法士会に貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。		前期に引き続き、千葉県作業療法士会代議員に立候補いたします。医療法人社団淳英会おゆみの中央病院の露崎雄太です。これまで広報部、千葉中央ブロック担当理事として、また複数の委員会活動に携わる中で、県士会の取り組みや現場の声を「どう整え、どう届けるか」を常に考えてきました。広報では情報を伝える形に整え、ブロック活動では顔の見える関係づくりを大切にしてきました。複数委員を経験したことで、分野を横断して課題を捉える視点も培われたと感じています。今後は、地域・多職種・外部との連携をさらに深めつつ、現場の意見を集め、整理し、言語化して代議の場に届ける役割を担いたいと考えています。県士会の活動が、より身近に「届く形」になるよう努めてまいります。	

<b>氏名</b>	<b>松尾 真輔</b>	<b>氏名</b>	<b>水越 竜司</b>
<b>勤務先</b>	<b>千葉県立保健医療大学</b>	<b>勤務先</b>	<b>季美の森リハビリテーション病院</b>
昨年度より士会会長を1期務めてまいりました。この期間に行政や他職種開催の様々なイベントや式典に出席させていただく中で、作業療法士会組織についてももちろんそうですが、まだまだ「作業療法」の認知度の低さを痛感しました。県士会は、県士会活動や県士会内外への効果的な情報の発信、また医療専門職団体としての役割を担うことなどが必要な組織です。改めて、これまで以上に、他都道府県士会や協会、他の専門職能団体、行政などの関わりある方々とも連携を強化し、地域社会作りに作業療法士の視点を持って携わることが大切であり、社会的地位の向上にもつながるものと信じています。県士会員の皆様と共に「千葉県における作業療法」の更なる発展に取り組んでいきたいと考えております。引き続き微力ではありますが、お役に立てればと思います、立候補いたしました。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。		この度、千葉県作業療法士会代議員選挙に立候補させていただきました季美の森リハビリテーション病院の水越竜司です。私は約2年前から県士会の運転支援検討委員として活動をさてもらっています。特に当病院がある山武長生夷隅医療圏域では、高齢化も進んでおり公共交通の不足から車依存での生活となっております。運転支援を行っていく中で、地域と情報共有や連携の必要性を強く感じております。今後は、圏域での運転支援をより強固にしていくとともに、作業療法士として地域の皆様が生きていえる生活できるよう病院・施設・地域の架け橋として地域とのつながりを大切にしていきたいと考えております。地域の活性化に寄与できるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。	

<b>氏名</b>	<b>安森 太一</b>	<b>氏名</b>	<b>吉田 尚樹</b>
<b>勤務先</b>	<b>千葉県千葉リハビリテーションセンター</b>	<b>勤務先</b>	<b>千葉県千葉リハビリテーションセンター</b>
私たち作業療法士は、日々の臨床を通じて、障害を抱える方々が再び地域で自分らしく生活できるよう支援しています。私はこれまで「運転支援を含む地域移動」や「高次脳機能障害者支援」を中心に取り組んでまいりました。移動の自由は生活の質や就労復帰に直結し、特に公共交通が乏しい地域では社会参加の基盤となります。安全な運転再開を支えるには、評価に多くの人的・時間的な負担が伴い、評価者育成の教育体制や実事評価の主観性など、課題も少なくありません。こうした経験を踏まえつつも、代議員としては特定の分野に限らず、広く会員の皆様のお声を伺い、地域に根ざした作業療法の発展、そして千葉県作業療法士会の発展に尽力してまいりたいと存じます。		千葉県千葉リハビリテーションセンターの吉田尚樹と申します。千葉県作業療法士会(千葉県士会)の代議員へは、過去2期にわたり務めさせていただきました。私が代議員へ立候補する理由としては、①千葉県士会が会員や地域の方々にとって身近でより良い組織として貢献すること、②千葉県士会と会員を繋ぎ、共に創り上げていく体制を整える、③これらの実現のために、会員や地域社会の声を確実に千葉県士会へ届け、時代に即した次なるアクションへ繋げる、ことを目指して参画していきたいと強く思っているからです。ぜひ、会員の皆様と歩んでいける千葉県士会を共に考え、動かしていきたいと思います。	

<b>氏名</b>	<b>城倉 千瑛</b>	<b>氏名</b>	<b>塩田 将</b>
<b>勤務先</b>	<b>千葉県千葉リハビリテーションセンター</b>	<b>勤務先</b>	<b>株式会社ドットライン ドットライフ花見川</b>
このたび千葉県作業療法士会代議員に立候補しました、千葉県千葉リハビリテーションセンターの城倉千瑛です。小児の急性期病院、療育センター、当センター回復期病棟での勤務を経て、現在は小児病棟・外来での作業療法業務に従事しています。県士会では事務局庶務部の部員として総会運営の補助等を行っております。子育て中の当事者として、仕事と育児を両立する視点を大切に、会員の皆さまの声を県士会に届けられるよう精一杯努めます。どうぞよろしくお願いいたします。		この度千葉県作業療法士会代議員に立候補する塩田将と申します。私は2020年から当会のホームページ委員であり、主にホームページに掲載される研修会案内の掲載業務を約5年間担っております。また、2023年からは東葛南部ブロックの委員として活動しており、各研修会の運営を行っております。現在は3月に行われる学会運営準備に邁進しております。令和6年度から2年の任期をもって代議員としての活動は終了しましたが、今回引き続き当会の運営に携わりたいと願い再び立候補させていただきました運びとなりました。皆様の様々な声を反映し、より良い組織運営をしていくために尽力していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。	

氏名	新田 恵太
勤務先	ウェルビー株式会社
私は千葉県内の回復期リハビリテーション病院に9年間勤務をし、現在は就労移行支援事業所で勤務をしています。回復期リハビリテーション病院では退院後の生活をより良くするために支援をしてまいりました。現在は障害をお持ちの方の就労支援や定着支援について、幅広い方々に知っていただくための活動をしております。また、千葉県の生活行為向上マネジメント推進委員で委員長を2年間勤めています。医療から福祉と経験した中で、地域との関わりに対する課題も多く見えてきました。課題の改善に向けた取り組みを行いながら、作業療法の普及活動を皆様と行っていききたいと思い立候補いたしました。何卒、よろしくお願いいたします。	

南総選挙区 立候補者 8名(定数6名)

氏名	浦部 智章	氏名	下田 辰也
勤務先	合同会社 artrings	勤務先	国保直営総合病院 君津中央病院
この度、千葉県作業療法士会代議員に立候補いたしました、合同会社artringsの浦部智章と申します。私は訪問看護ステーションの作業療法士として、利用者様の生活の場で日々研鑽を積んでいます。地域包括ケアシステムの構築が急務となる中、生活に根ざした視点を持つ作業療法士の役割はかつてないほど重要になっています。私は、利用者様が住み慣れた地域でその人らしい生活を再建し、社会参加を継続できるよう、多職種と密に連携した「顔の見える関係づくり」に注力してまいりました。代議員として、現場で培った地域連携の実績を活かし、他職種との協働をさらに深化させるための体制づくりや、地域社会における作業療法士のプレゼンス向上に寄与したいと考えております。会員の皆様の声を真摯に受け止め、本会の発展と、誰もが自分らしく暮らせる地域社会の実現に向け、精一杯邁進する所存です。何卒よろしく願い申し上げます。		このたび、千葉県作業療法士会 代議員選挙に立候補させていただきました、国保直営総合病院 君津中央病院の下田辰也と申します。これまで、代議員・理事・ブロック長などを経験し、現在は地域共生社会推進委員長として活動しております。現場で働く作業療法士の声を、できるだけ県士会の活動に反映させたいとこれまで関わってまいりました。地域では、リハ職や多職種、住民団体などが少しずつつながり、動き始めています。その中で改めて「作業療法士の強みや役割をきちんと守り、伝えていくこと」が大切さだと感じております。そして、それを組織的にできるのは、やはり県士会だからこそだと思っています。会員の皆さんにとって価値ある情報や取り組みを、できるだけ分かりやすく、効率よく届けることを大切にしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。	

氏名	気仙 由佳	氏名	袴田 龍一
勤務先	国保直営総合病院 君津中央病院	勤務先	白金整形外科病院
このたび、千葉県作業療法士会 代議員選挙に立候補させていただきました、国保直営総合病院 君津中央病院の気仙由佳と申します。これまで県士会では、広報委員会・子ども連携委員会・発達障害委員会、そして南総ブロックで活動してまいりました。さまざまな委員会活動に関わる中で、職域や立場を越えて「つながることの大切さ」を実感する場面が多くなりました。県士会の活動は、会員一人ひとりの声があつてこそ、より意味のあるものになると感じています。代議員として、県士会と地域とのつながりを大切にしながら、会員の皆さまの声を丁寧に取り取り、より良い県士会活動につなげていくことを目標に取り組みでいきたいと考えております。微力ではありますが、現場で働く作業療法士の一人として、誠実に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。		令和8年度代議員選挙に立候補いたします。白金整形外科病院地域リハビリテーション室に勤務しております、袴田龍一と申します。これまで急性期・回復期病棟、外来、通所、訪問リハビリテーションと幅広い臨床現場を経験してきました。現在はその経験を活かし、地域におけるリハビリテーション活動を中心に取り組んでいます。地域リハビリテーション広域支援センター業務を通じて、地域連携の重要性や、作業療法士が地域で果たせる役割の大きさを実感しました。行政職員をはじめ、多くの関係者から作業療法士の専門性が求められている現状もあります。地域に積極的に関わることは、作業療法士の価値の向上と質の向上につながると考えています。これまでの活動を県士会活動に反映させ、県士会の発展に貢献したいと考え、立候補いたしました。何卒ご支援ご指導をお願いいたします。	

氏名	兼子 健一	氏名	森 優太
勤務先	千葉県医療福祉専門学校	勤務先	株式会社 オキユラボ
千葉県医療福祉専門学校の兼子健一です。このたび、千葉県作業療法士会の代議員に立候補いたしました。作業療法士養成に携わる立場として、将来の作業療法を担う人材育成に取り組むとともに、教育と臨床をつなぐ視点から、作業療法の発展に関わっていくことの重要性を感じております。これまで県士会では、副会長業務をはじめ、福利厚生部、企画委員会、司法作業療法特設委員会、臨床実習指導者講習会委員会など、さまざまな活動に関わってまいりました。今後もこれまでの経験を生かし、千葉県作業療法士会のさらなる充実に貢献できるよう努めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。		この度、千葉県作業療法士会代議員選挙に立候補しました株式会社オキユラボの森優太です。現在は小児、運動器、教育、産業、高齢期と多くの領域に携わらせていただいております。県士会活動ではブロック委員及び広報委員として活動をして参りました。今回立候補した理由として、県士会員の中でも特に若手の方々の意見をより県士会活動に活かしたいという思いがあります。最近、若手 OTから「県士会活動に携わりたいけどどうしたらいいかわからない。」「こんなことやってみたい。」など多くのフレッシュな声を聞く機会が増えてきました。後進世代の OTがより千葉県で活躍できるための架け橋に私自身がなればと考えております。まだまだ我輩者ではございますが千葉県作業療法士会の発展に尽力していきます。どうぞよろしくお願いいたします	

氏名	上村 尚美	氏名	篠原 真矢
勤務先	亀田リハビリテーション病院	勤務先	帝京大学ちば総合医療センター
私はこの度、千葉県作業療法士協会の代議員に立候補いたしました、医療法人鉄蕉会亀田リハビリテーション病院の上村尚美です。これまで 20 年間、急性期・回復期・生活期・小児と幅広い領域で臨床経験を積んできました。南総・外房地域という、作業療法士や地域資源が決して多くはない地域において、対象者の生活行為を地域につなぐ支援を続けてきました。南総ブロックの代議員として、まずは地域内で支え合う仕組みづくりに貢献したいと考えています。また現在所属している地域共生社会推進委員会・千葉中央ブロック委員会を通し、地域の枠を越えた橋渡し役として南総・外房と県内他地域が、和衷協同のもと結ばれ、千葉県作業療法士会の発展に寄与していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。		令和 8 年度千葉県作業療法士会代議員選挙に立候補致しました、帝京大学ちば総合医療センターリハビリテーション部の篠原真矢です。作業療法士として、身体障害領域の急性期リハビリテーションに従事してきました。これまで出産・育児を経験し、仕事と家庭の両立に悩みながらも、学会発表や認定作業療法士の取得、論文執筆などに取り組んでまいりました。協会や県士会の活動に支えられ、専門職として成長することができていると感じています。作業療法は生活を支える専門職で、自分の生活の経験がキャリアに繋がるところが魅力の一つです。微力ではありますが、県士会活動を通じて、作業療法を科学的に考え、発展させていく一助となれたらと思います。また、悩みや疑問を抱える会員の皆さまに寄り添える代議員でありたいと考えています。どうぞよろしく願い致します。	